



作品名 **球形の地平**
Abohe the global horizon

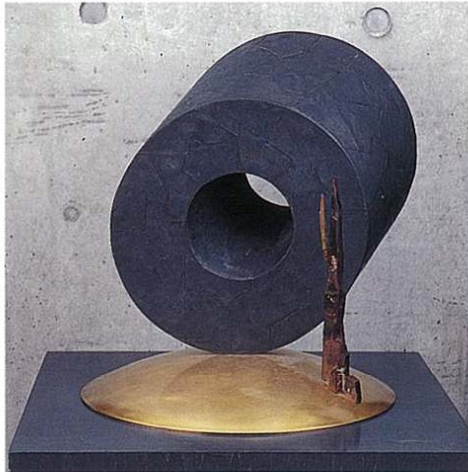
作者 望月 菊磨 MOCHIZUKI Kikuma
寸法 30(幅)×30(奥)×30(高さ)cm
展示場所 文化の家

■作家歴

1945福岡県生まれ
東京芸術大学美術学部研究科修了
終了制作(サロンド・ブランタン賞)
現代日本美術展 日本国際美術展(入選)
東京、福岡にて個展
ベトナム日本大使公邸、筑波化学技術博覧会、
愛知芸術文化センター、横浜市中央図書館、
彩の国さいたま芸術劇場に作品設置

■コメント

自然をイメージするような形、人の手になる
構築物のような形態、それらが生み出す直径
30cmのゆるやかな局面上の広く大きな空間
と世界。



作品名 **球形の地平**
Abohe the global horizon

寸法 30(幅)×30(奥)×30(高さ)cm
展示場所 文化の家

■コメント

円という完結した形に量感を与え、それを
斜にずらす事により奥行きのある構造的な
形にし、そこに自然物をイメージする形をそえる。
小さな球形上に、非日常的な空間が生まれる。



作品名 **球形の地平**
Abohe the global horizon

寸法 30(幅)×30(奥)×30(高さ)cm
展示場所 文化の家

■コメント

少しねじれた四角い塔のような形。そばに
ある樹のような形がその大きさをイメージさせ、
この球形の円盤上に入れたらどんな世界が
広がるのだろうか。



作品名 **球形の地平**
Abohe the global horizon

寸法 30(幅)×30(奥)×30(高さ)cm
展示場所 文化の家

■コメント

量感があり、黒い金属で覆われた閉じた建
築物のような形。中に入れるのか、中にはど
のような空間があるのか、それとも何も無いの
か、小さな球形上に置かれた小さな疑問。